平成25年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月12日

上場会社名　　ネオス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3627　　ＵＲＬ　http://www.neoscorp.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）池田　昌史
問合せ先責任者　（役職名）取締役兼執行役員企画部長　（氏名）中野　隆司　　ＴＥＬ　(03)5209－1590

四半期報告書提出予定日　　平成24年10月12日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年２月期第２四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年８月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第２四半期	3,221	14.1	224	△14.1	235	△9.7	△177	－
24年２月期第２四半期	2,822	12.2	261	12.2	260	12.1	107	△21.8

（注）包括利益　　25年２月期第２四半期　　△179百万円（－%）　　24年２月期第２四半期　　112百万円（－%）

（注）24年２月期第２四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年６月30日）を適用し、遡及処理しております。

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第２四半期	△2,292.03	－
24年２月期第２四半期	1,408.58	1,129.56

（注）25年２月期第２四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年２月期第２四半期	3,517	2,878	80.7	36,576.79
24年２月期	3,974	3,118	76.8	39,352.10

（参考）自己資本　　25年２月期第２四半期　　2,839百万円　　24年２月期　　3,054百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	－	0.00	－	450.00	450.00
25年２月期	－	0.00			
25年２月期（予想）			－	450.00	450.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,650	10.1	600	11.8	600	12.3	30	△85.6	386.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規　－ 社　（社名）－、除外 1 社　（社名）カタリスト・モバイル株式会社
（注）詳細は、添付資料P.3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：有
②	①以外の会計方針の変更	：無
③	会計上の見積りの変更	：無
④	修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期２Ｑ	77,634株	24年２月期	77,622株
② 期末自己株式数	25年２月期２Ｑ	－株	24年２月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期２Ｑ	77,627株	24年２月期２Ｑ	76,655株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しています。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況等の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（自平成24年3月1日至平成24年8月31日）における日本経済は、当初、東日本大震災の復興需要などによる景気の持ち直しが見込まれたものの、くすぶり続ける欧州債務問題や中国景気の減速懸念、円高等の影響により、景気回復の動きは足踏み状態にあります。また、韓国、中国との領土問題に端を発した国家間の摩擦による経済活動への影響も、懸念材料となっており、依然として景気の先行きは、不透明な状況が続いています。

携帯電話市場においては、フィーチャーフォンからスマートフォンへのシフトが本格化しており、2012年度の総出荷台数予測4,060万台のうち、スマートフォンの出荷台数は約7割の2,790万台に達すると予想されております。一方、2012年度のフィーチャーフォンの出荷台数は、1,270万台と予測され、前年度の1857万台の３割減と大きく減少するとみられております。（出典：MM総研[東京・港]）。

本格的スマートフォン時代が到来する中で、当社は既報の通り、6月1日の合併により、グループ一元化体制を構築、商号もネオス株式会社と変更し、新たなスタートをきりました。三か月が経過し、スマートフォン集中体制の成果が、各事業で表れてきております。

スマートフォンへの急速なシフトが進む中、携帯キャリアでは、ＮＴＴドコモの「ｄマーケット」、ＫＤＤＩの「auスマートパス」など、キャリア自身がエンドユーザーに向けてダイレクトにサービスを展開する流れが加速しております。当社グループでは、この新しい動きを多方面からサポートするソリューション事業に注力しております。

また、メールでアニメーション表現を可能にする『アニエモ』技術や音質向上ソリューション『Audyssey Dynamic EQ』などのスマートフォン向けミドルウェアのライセンス事業も拡大しております。さらにスマートフォンの普及にともないエンドユーザーのコンテンツ利用が徐々に浸透しつつあり、コミックやキャラクターコンテンツといったスマートフォンサービス事業も本格的に立ち上がりつつあります。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は3,221,538千円（前年同期比14.1%増）、営業利益224,642千円（前年同期比14.1%減）、経常利益235,353千円（前年同期比9.7%減）となりました。また、当第１四半期連結会計期間に計上した特別損失381,259千円の影響により、当期純損失は177,923千円となっております。

営業利益、経常利益については、累計では前年同期比で減益となっておりますが、当第２四半期連結会計期間では、営業利益170,694千円、経常利益171,807千円と四半期の期間損益としては、昨年度来、最高益となりました。

以下、事業別の動向について述べます。

＜ソリューション事業＞

当第２四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は1,930,237千円（前年同期比13.1%増）となりました。

スマートフォン端末の出荷台数が拡大する中、携帯キャリアはキャリア自身による独自のサービスを活発に推進しております。NTTドコモの「ｄマーケット」では、映画やドラマなどが定額で見放題の『VIDEOストア』や幅広いジャンルの100万曲を提供する『MUSICストア』、人気書籍など4万タイトルを配信する『BOOKストア』等、スマートフォンの新しい楽しみ方を積極的に展開しております。加えて、9月からは写真・動画ストレージサービス「フォトコレクション」サービスもスタートしています。また、KDDIの「auスマートパス」では、定額での『アプリ取り放題』やスマートフォンで撮った写真・動画をオンラインストレージに保存し、閲覧できる「 Photo Album」サービスなど、ユーザーに向けて積極的な展開を図っています。

こういった動向に対し当社は、携帯キャリアに積極的にソリューション提案を行い、事業拡大を推進しております。

法人向けソリューションでは、一般法人がスマートフォン向けに本格的なサービスを開始するにともない、スマートフォンサイトの構築や運営の案件が増加しております。また、当社が得意とするヘルスケア、メディカル業界向けのシステム開発やサイト構築、ＷＥＢマーケティング等の案件に引き続き注力しています。

＜プロダクト＆サービス事業＞

当第2四半期連結累計期間におけるプロダクト＆サービス事業の売上高は1,291,301千円（前年同期比15.8%増）となりました。

スマートフォン向けに推進しているソフトウェア・ライセンス事業では、NTTドコモの『デコメ絵文字pop・デコメピクチャpop』で採用されているアニメーションメールエンジン「アニエモ」を、HTML５対応版にいち早くバージョンアップしました。また、先進的なＵＩ(User Interface)を実現する3D描画エンジン『MatrixEngine』の製品化を行い、KDDIの「Photo Album」アプリや、NTTドコモのメディアプレーヤー向けに提供を開始しました。

電子コミック事業では、スマートフォン対応が順調に伸びており、プラットフォーム提供が拡大しております。

さらに、既存のコミックファイルをサーバで変換し、ブラウザでコミックを閲覧する新しい技術の開発により、iPhone向け配信プラットフォームの提供も開始しました。

また、きせかえサービスについては、スマートフォンユーザーの拡大に合わせ、単なる「きせかえコンテンツの提供」から「キャラクターファン向けサービス」への拡張を図っており、第1弾として20代から30代の女性に高い人気を誇るキャラクター「Suzy’s Zoo」のアプリやコンテンツを、使い放題で提供する『We love Suzy’s Zoo』を８月からスタートしました。

ヘルスケア事業では、トータルヘルスケアサービス『Karada Manager』に、手軽にダイエットを実現する「らくらくダイエットモード」を追加して、ライト層が取り組みやすい機能を提供し、利用者の拡大を図っております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の資産の部の合計は3,517,901千円（前連結会計年度末は3,974,753千円）と、前連結会計年度末に比べ456,851千円減少いたしました。当第２四半期連結累計期間の主な増減内容は以下のとおりであります。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ94,389千円減少し、2,248,999千円となりました。これは主に現金及び預金や、受取手形及び売掛金、仕掛品の減少によるものです。

固定資産につきましては、無形固定資産が338,604千円、投資その他の資産が19,408千円、有形固定資産が4,449千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ362,462千円減少し、1,268,902千円となりました。

当第２四半期連結会計期間末の負債の部の合計は639,439千円（前連結会計年度末は856,726千円）と、前連結会計年度末に比べ217,287千円減少いたしました。これは主に、未払費用や未払法人税等の減少によるものです。

当第２四半期連結会計期間末の純資産の部の合計は2,878,462千円（前連結会計年度末は3,118,026千円）と、前連結会計年度末に比べ239,564千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月期の業績予想につきましては、平成24年７月13日付「業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」において発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況等の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間において、平成24年６月１日付けで当社を吸収合併存続会社、カタリスト・モバイル株式会社を吸収消滅会社とする吸収合併を行い、カタリスト・モバイル株式会社は解散したため、連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はございません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,222,669	1,106,887
受取手形及び売掛金	800,389	797,401
仕掛品	93,014	42,449
その他	227,314	302,259
流動資産合計	2,343,389	2,248,999
固定資産		
有形固定資産	179,416	174,966
無形固定資産		
のれん	126,625	158,354
ソフトウエア	661,804	474,628
その他	253,287	70,131
無形固定資産合計	1,041,717	703,113
投資その他の資産		
その他	410,230	394,333
貸倒引当金	－	△3,512
投資その他の資産合計	410,230	390,821
固定資産合計	1,631,364	1,268,902
資産合計	3,974,753	3,517,901
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	220,826	206,655
未払法人税等	128,401	15,340
賞与引当金	200,623	165,343
ポイント引当金	9,975	7,032
その他	261,890	208,829
流動負債合計	821,718	603,200
固定負債		
資産除去債務	35,008	36,238
固定負債合計	35,008	36,238
負債合計	856,726	639,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	949,048	949,248
資本剰余金	939,048	939,248
利益剰余金	1,168,399	955,326
株主資本合計	3,056,497	2,843,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,908	△4,222
その他の包括利益累計額合計	△1,908	△4,222
新株予約権	35,150	36,604
少数株主持分	28,286	2,256
純資産合計	3,118,026	2,878,462
負債純資産合計	3,974,753	3,517,901

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）
売上高	2,822,803	3,221,538
売上原価	1,939,872	2,240,325
売上総利益	882,930	981,213
販売費及び一般管理費	621,377	756,571
営業利益	261,552	224,642
営業外収益		
補助金収入	－	10,224
その他	1,052	3,918
営業外収益合計	1,052	14,142
営業外費用		
為替差損	222	2,533
その他	1,651	898
営業外費用合計	1,874	3,431
経常利益	260,731	235,353
特別損失		
減損損失	－	347,727
合併関連費用	－	15,145
持分変動損失	－	15,341
投資有価証券評価損	－	2,999
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,021	－
特別損失合計	3,021	381,214
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	257,709	△145,860
法人税、住民税及び事業税	129,457	61,277
法人税等調整額	5,918	△30,332
法人税等合計	135,376	30,944
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	122,333	△176,805
少数株主利益	14,358	1,117
四半期純利益又は四半期純損失（△）	107,974	△177,923

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	122,333	△176,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,529	△2,314
その他の包括利益合計	△9,529	△2,314
四半期包括利益	112,803	△179,119
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,444	△180,237
少数株主に係る四半期包括利益	14,358	1,117

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	257,709	△145,860
減価償却費	194,052	200,292
のれん償却額	16,402	23,745
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	3,512
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,921	△35,280
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△1,244	△2,943
支払利息	294	70
投資有価証券評価損益（△は益）	－	2,999
減損損失	－	347,727
持分変動損益（△は益）	－	15,341
売上債権の増減額（△は増加）	△136,855	2,987
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5,547	50,455
仕入債務の増減額（△は減少）	30,678	△14,171
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,021	－
その他	36,173	△27,155
小計	390,764	421,719
利息及び配当金の受取額	104	107
利息の支払額	－	△222
法人税等の支払額	△232,457	△169,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,411	251,970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,757	△14,176
無形固定資産の取得による支出	△223,253	△149,212
無形固定資産の売却による収入	－	5,000
投資有価証券の取得による支出	△3,000	△35,300
差入保証金の差入による支出	△15,000	△1,623
子会社株式の取得による支出	－	△139,699
差入保証金の回収による収入	10,047	3,844
その他	9,378	△5,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,585	△336,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	11,000	400
配当金の支払額	△33,986	△34,369
少数株主からの払込みによる収入	－	3,959
その他	△2,032	△780
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,018	△30,789
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△94,192	△115,781
現金及び現金同等物の期首残高	1,116,290	1,222,669
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,022,097	1,106,887

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
前第２四半期連結累計期間（自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）
当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日）
当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
該当事項はありません。